

農業後継者育成基金事業

平成 25 年度 農業高校助成事業

事業主体名 鹿児島県立鹿屋農業高等学校

1 目的

農業後継者確保のため啓発活動及び視察研修を主とする。1 年次は全員を対象に農業大学校・総合開発センター等の 2 回の視察を行う。2 年次では農家委託実習を 7 泊 8 日で実施し、体験的に経営学習を行う。3 年次は直接就農及び農業大学校進学者等で先進農家を中心とした視察研修を実施し、適格者の確保を目指すものである。

2 実施状況

(1) 責善寮視察研修の実施

1 年生である責善寮生が農業大学校や県農業総合開発センターを視察研修することで、本県の農業の実態や農政の現状等を学習し、将来の新規就農者及び地域産業の担い手として将来の方向付けを確立するための機械とする。

視察研修をとおして本県の実態等を研修し、今後の学習の刺激となっている。



(2) 農家委託実習の実施

専門科目の実験・実習などの学習成果をもとにして、地元優良農家において体験的に学習することにより農業に関する理解を深めるとともに豊かな心の醸成に努める。

農家での宿泊体験をとおして、自宅とは違った生活を体験することにより多角的な考えができるようになった。



(3) 営農の門出を励ます会

卒業後ただちに自営する者又は研修や進学後自営を志向する者の門出を祝し、その意志を貫くよう励ます会。この会には大隅地区の行政、J A、P T A関係者が参加する。

最後に学校で生産した牛乳で乾杯し躍進を誓う。



3 今後の課題及び取組

自営学科への入学者が減少している。また、非農家の入学者が多く基礎・基本から指導しなければならない状況である。今後、生徒募集に力を入れ魅力ある学校づくりに努めたい。